

# 「JIA文化財修復塾」第1回開講

(公社) 日本建築家協会・JIA文化財修復塾

東日本大震災後の被災調査も一つの区切を迎え、平常時の活動が求められるようになりました。文化の継承として、文化財建造物(主に登録有形文化財)を修理・維持・活用していくために、修理活用設計技術者を養成するための講習会「JIA文化財修復塾」を開講することとなりました。

座学・実習等合わせて9講座、60時間を全講座とし、約1年をかけて習得することになります。座学は東京本部で開催し、実習4講座は各支部・地域で開催する予定です。最終回には、参加者全員の意見交換の場とし、各自の修復論を発表し、この全課程を受講した者に対して、JIA芦原会長および、学識経験として後藤工学院大学教授、足立神戸大学教授、永井山形大学教授による認定委員会によって、「JIA文化財修復塾」全講座受講修了認定書が付与されます。

(コース詳細は裏面をご覧ください)



## ■第1回日程

2015年8月1日(土) 参加費4000円

(テキスト「専門教育のための研修テキスト」(社)建築士会連合会 編集 別途税込1080円)

時間 午前 10:15～18:45

場所 JIA 館1階建築家クラブ(渋谷区神宮前2-3-18) 当日連絡先 090-1817-8883 ひだり

対象 JIA会員(ドクター事業参加経験者を含む)およびヘリテージマネージャー修了認定者

※講師・演題は都合により変更になる可能性があります

午前	10:15	ご挨拶	文化庁文化財部 北河調査官
	10:25～10:35	趣旨説明	小西塾長
	10:35～12:35	日本における文化財保存活用概論-①	文化庁文化財部 北河調査官
12:35～13:30		休憩	
午後	13:30～15:00	日本における文化財保存活用概論-②	文化庁文化財部 北河調査官
	休憩		
	15:15～18:45	文化遺産と建築災害	後藤 治 教授(工学院大学)

上記講義は、ユーストリウムでも配信され、配信されたものは、<http://www.ustream.tv/channel/jia-kksk> から受講できます。ユーストリウムで受講し単位(直接受講と同じ単位)を取得したい場合、小西 t-524@outlook.jp へご連絡下さい。配布資料を送付します。受講後レポートの提出によって受講認定となります。※現地講習は、地域にまたがって取得することも可能です。

申込先 公益社団法人日本建築家協会 原田謙治 FAX:03-3408-7129 E-mail:jharada@jia.or.jp

申込者氏名 \_\_\_\_\_ □JIA 会員 No. \_\_\_\_\_

□建築士会 No. \_\_\_\_\_ □ヘリテージマネージャー取得 県 No. \_\_\_\_\_

□ドクター派遣支援事業において派遣経験あり。場所 \_\_\_\_\_ □旧 JIA 修復塾参加経験 第 \_\_\_\_\_ 回

□全講座申し込みます。(一括の場合は32000円です)

JIA文化財修復塾 年間予定表(1~9回各講座参加費 4000円 ★印 ユーストリウム配信予定講座)

	日程	テーマ	講師名	単位数
★ 第1回	H27 8月1日(土) 建築家クラブ	①日本における文化財保存活用計画概論-① ②日本における文化財保存活用計画概論-② ③文化遺産と建築災害	北河文化財調査官 北河文化財調査官 後藤 治教授	(必須) 7
	★ 第2回 10月10日 (土) 建築家クラブ	④国際文化遺産の保存活動の実態(ユネスコ等) ⑤文化財先進国の保存管理修復体制 ⑥庭園文化財		(必須) 7
	★ 第3回 11月21日 (土)(仮) 建築家クラブ	⑦修復の基礎知識 ⑧修復概論 ⑨法規・補助/助成制度		7
★ 第4回	H28 2月6日(仮) 建築家クラブ	⑩伝統構法の歴史 ⑪伝統構法を支える材料 ⑫緊急時発生から調査まで(調査票の書き方)		7
第5回	各支部・地域 開催	現地講習1 ※開催地域より案内があります		各6.5 計26
第6回	各支部・地域 開催	現地講習2 ※開催地域より案内があります		
第7回	各支部・地域 開催	現地講習3 ※開催地域より案内があります		
第8回	各支部・地域 開催	現地講習4 ※開催地域より案内があります		
★ 第9回	3月12日(土) (仮)	・集合しての意見交換 ・グループ毎の発表及び質疑応答 ・講師による講評		(必須) 6
	3月20日(仮)	修了認定委員会の開催		合計60
	5月くらい	修了認定書の発行		

JIA文化財修復塾の独自性について:

世界各地で、様々な素材を用い、様々な構法で建物が造られてきました。建物は時間とともに物理的に傷み、災害に遭うと大きな被害を受けます。建物の価値をできるだけ失わないように修復することは使い続けていく上でとても大切なことで、構法に合った修復方法があります。日本の伝統的な建物はそれに合った修復方法による必要があります。しかし、それと同時に歴史的・文化的価値や修復に対する国際的通念もあり、せつかくの修復が独りよがりによって国際的に価値を減じることになるとも限りません。広い視野を持って修復事業に当たることが必要だと考えられます。

同じような講習を各県の建築士会でもヘリテージマネージャーの資格取得の講習として行っておりますが、県によって講習内容や、認定の仕方などに違いが見られます。JIA文化修復塾の場合は、全国組織のJIAが一本化して行うもので、受講修了認定者はJIAの関与する全国の修復事業に関われます。

以上を勘案してカリキュラムを組み立ててあります。

※ドクター派遣に参加された方は現地講習の一部が免除、2013年までの修復塾受講者の方はご相談ください。

※ヘリテージマネージャー受講修了者は、1, 2, 9回の受講で修了認定が受けられます。